資料１

第2次高槻市男女共同参画計画
令和7年度　進捗状況について（報告）

令和5年3月に策定した「第2次高槻市男女共同参画計画」に基づき、各所属が実施している男女共同参画の推進に係る取組の令和7年度進捗状況を報告

● 計画の概要

策定時期	令和5年3月
計画期間	令和5年度から令和14年度
基本理念	男女が社会の対等な構成員として、互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、職場・家庭・地域社会等のあらゆる分野において、性別に関わりなく、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現
基本目標	Ⅰ　あらゆる分野における女性の活躍推進 Ⅱ　安全・安心な暮らしの確保 Ⅲ　男女共同参画社会の実現に向けた基盤整備
取組数	53
取組内容数	86（再掲分含む）

令和7年度　事業実績（主な取組）

＜取組実績＞

基本目標Ⅰ　あらゆる分野における女性の活躍推進

●取組１　審議会等委員への女性の参画

1

審議会等の設置数　73
女性委員のいない審議会等の数　2
女性委員率　30.7%

【令和6年度】
審議会等の設置数　62
女性委員のいない審議会等の数　4
女性委員率　28.1％

●取組2　女性職員・教員の登用

2

（職員）※主査級昇任試験
・対象者　600人（内女性　341人）
・受験者　110人（内女性　16人）
・合格者　25人（内女性　4人）

（教員：小中学校）※管理職選考〈教頭〉
・対象者　950人（内女性　540人）
・受験者　17人（内女性　1人）
・合格者　9人（内女性　0人）

●取組11　企業等への啓発・情報発信

16

労働相談
全188件のうち、セクハラ6件
パワハラ46件

【令和6年度】
全146件のうち、セクハラ0件
パワハラ34件

＜取組実績＞

基本目標Ⅱ　安全・安心な暮らしの確保

●取組24　関係課と連携した総合的な支援

43

・DV対応連絡会議　1回
・女性相談支援員によるDV相談
　件数　延べ299件（実人数 217人）

【令和6年度】
DV相談件数　延べ248件（実人数 205人）

●取組28　女性相談

48

・困難な問題を抱える女性への支援にかかる支援調整会議代表者会議　1回
・女性一般相談件数　306件
・女性弁護士による法律相談件数　78件

【令和6年度】
女性一般相談件数　236件
法律相談件数　62件

●取組39　意思決定への女性の参画

65　防災会議に新たに女性委員3名を登用（令和8年3月31日時点 委嘱数38名（内女性7名））

66　広報特集「避難所から考える　男女共同参画」を掲載。

＜取組実績＞

基本目標Ⅲ　男女共同参画社会の実現に向けた基盤整備

●取組42　啓発活動

70

・CATV広報番組「『女の職業』『男の職業』ってあるの？自分らしさを大切に」放映。

・男女共同参画センターにて講座を実施。
　全21講座、合計41回、受講者数延べ738人

●取組45　理解促進に向けた啓発

76

市職員向け研修を実施した。

・「女性活躍推進研修」
　対象　採用15～17年目一般職女性職員　受講者数44名

・「女性の健康課題への理解と働きやすい職場づくり～女性の力を組織の資源に～」
　対象　男女共同参画推進本部員・幹事、希望する職員　受講者数39名

●取組49　男性の家事・育児・介護等への参画促進に向けた講座等

82

講座・教室を実施した。
「お父さんと子どものクッキング」2回　23組参加　など

●取組53　男女共同参画センターの利用拡大

86

・利用人数　9,902人（令和6年度9,016人）

・子育て層を対象としたミニイベントを拡充。
保育付き のんびり読書タイム
6回、延べ参加者数51人
（令和6年度 2回、延べ参加者数14人）


保育付き のんびり読書タイム

・情報発信の充実を図った。

①ホワイトボードの活用
②図書 ミニ展示コーナーの設置
③受講生メーリングリストの活用
（登録者数71人）



センター入口


図書 ミニ展示コーナー

施策の指標

＜施策の指標＞

●基本目標Ⅰ　あらゆる分野における女性の活躍推進

評価指標	策定時 （令和3年度） 割合等	＜参考＞ 令和6年度 割合等	**令和7年度 割合等**	目標値 令和14年度	備考
審議会等委員の女性委員の割合	29.5%	28.1%	**30.7%**	40%以上 60%以下	
女性委員のいない審議会等の割合	8.8%	6.5%	**2.7%**	0%	
女性人材リスト登録者	8名	7名	**13名**	20名	
高槻市職員の管理職（主査級以上）の女性の割合	19.1%	20.1%	**19.8%**	30%	特定事業主 行動計画の目標値

●基本目標Ⅱ　安全・安心な暮らしの確保

【参　考】

評価指標の割合等は市民意識調査（令和３年度）による数値。
次回調査は、計画の中間見直し前年（令和８年度）に実施する予定

評価指標	策定時 （令和3年度） 割合等	目標値 令和14年度	備考
配偶者等から身体的・精神的暴力を受けた経験のある人の割合	（※） 全体　25.6% 女性　29.4% 男性　19.4%	減少	
配偶者等から暴力を受けたことがあるが、どこにも相談したことがない人の割合	（※） 全体　57.3% 女性　50.3% 男性　74.6%	減少	
DVを受けた時の相談先が市役所にあることを知っている人の割合	（※） 全体　23.8% 女性　20.6% 男性　28.3%	50%	
「リプロダクティブ・ヘルス／ライツ（性と生殖に関する健康と権利）」の認知度	（※） 17.9%	25%	

（※）は令和3年度市民意識調査による数値

●基本目標Ⅲ　男女共同参画社会の実現に向けた基盤整備

【参　考】

評価指標の割合等は市民意識調査（令和３年度）による数値。
次回調査は、計画の中間見直し前年（令和８年度）に実施予定

評価指標	策定時 （令和3年度） 割合等	目標値 令和14年度	備考
「男女共同参画社会」という言葉の認知度	（※） 全体　50.2% 女性　47.8% 男性　54.3%	80%	
性別による固定的な役割分担意識に同意する人の割合（「夫は仕事」「妻は家庭」賛同割合）	（※） 全体　24.6% 女性　22.7% 男性　27.3%	①全体数値 15.7%以下 ②男女差縮小	
社会全体からみた男女の地位が「平等である」と思う人の割合	（※） 女性　7.0% 男性　15.8%	①20%以上 ②男女差縮小	
男女共同参画センターを利用したことがある人の割合	（※） 全体　0.7% 女性　0.8% 男性　0.5%	3.0% 3.0% 3.0%	

（※）は令和3年度市民意識調査による数値